

「生徒がつながる」 協働的な探究の学びが生徒の主体性を育む ～実践的・体験的な学習の場面より～

【福井県立坂井高等学校:工・農・商・家 4学科8コース】

多様な人々との協働的な探究の学びをしかけたとき、
生徒は「主体的に活動する生徒」へと変わる

【協働的な探究の学びにおいて重視する点】

- 生徒が前面に出ている活動となっているかどうか
→与えられたものではなく、生徒自身が真に課題と向き合いながら解決へのアプローチを導き出すようにする
→可能な限り関係者との交渉も生徒自身が行うようにする
- 学科間連携の可能性を常に意識・模索し、各コースが得意とする領域で課題解決の方法を提案しながらプロジェクトに取り組む
- 課題研究交流発表会の実施や学校設定科目「ふくい産業」(1年次)での学習により、他コースの学びを知る機会が生まれ、学科を越えた学びやコース間の連携を生まれやすくさせる
- ビジネスコースをハブとして各コースの専門性と掛け合わせた協働的な課題研究を実施することにより、どのコースの生徒にも生産者と消費者とのつながりを感じさせる
- プロジェクトでは、単にモノをつくるだけでなく、課題解決の「物語」をつくることを生徒に意識させる
- 生徒の自己肯定感を向上させるしかけをつくり、教員は生徒を「支援」することを意識する
- 教員自身も、協働的な探究の学びを通じて生徒が変わっていく姿を目の当たりにし、生徒の成長を実感する

【課題研究交流発表会】

8コースの生徒が交流し、互いの学びを知るとともに、コラボできる可能性を探る



【ミニ新幹線の乗車体験イベントで世代交流】

幼稚園児にミニトレインで楽しんでもらう
交流会を企画

- 【自動車コース】ミニ新幹線の製作
- 【ビジネスコース】イベントの企画・運営及び記念乗車券の製作
- 【生活デザインコース】車掌の衣装製作



【ふるさと納税返礼品の開発】 ふるさと納税返礼品のパッケージデザイン



【農業コース】
返礼品となる梨の生産



【ビジネスコース】
箱や紙袋のデザイン



ビジネスコースの生徒がデザインしたパッケージ案を発表し
農業コースの生徒が評価

【福井のお土産プロジェクト】



農業コース
ビジネスコース
のコラボで自校生産の
梨とそばのパッケージ
を提案

【生徒の実感】

つくるだけ、デザインするだけでなく、学科連携により生産から消費者までのつながりを感じることができた

【お土産菓子の開発】

地元和菓子店の商品開発に協力



【機械コース】菓子用焼き印の製作



【ビジネスコース】商品パッケージ及び焼き印のデザイン



【生徒が「自分自身が成長した」「以前と変化した」と思う点】

(3年生)

- ・考える力が成長した。発表して周りの意見も考えるということが以前と変化したと思う。
- ・自分の考えをしっかりとめられるようになった点。
- ・作業をする時の仕事に責任感を感じるようになった。
- ・物事を違う視点で見る能力が成長したと思う。

(2年生)

- ・視野が少し広がったと思う。就職を考えたり、見ようとする場所が少し変わった気がする。
- ・企業と坂井高校が密接な関係を築いていることで、貴重な意見やプロフェッショナルの方々が実際に作業をしているところを見ることができ、自分の腕や技術を磨くのにとっても役に立った。
- ・自分がどういう仕事に就きたいかを考えて少しずつ近づいてきたこと。

(1年生)

- ・福井について改めて知り、まだまだ知らないことがありもっと探求したいという意欲が湧いた。
- ・入学してからは電気の事についてしか勉強しないと思っていたけど他の科による出前授業がほんとに良かったと思う。
- ・興味を持つようになった。もっと詳しく教えてほしいと思うことが増えた。
- ・思い込んでいたことがあったが、話を聞いたら違うことがあった。